

病院スローガン(8月~10月)

1日の始まりは、あなたの笑顔とあいさつから

発行: 紀南病院組合立紀南病院 〒519-5293 三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和4750 ☎05979-2-1333(代) renkei@kinan-hp-mie.jp(地域連携室)

楯ヶ崎



●病院理念 優しく、温かい、確かな医療を提供し、紀南の環境文化に根ざした地域連携の充実に努めます

- 基本方針
- 1、サービス精神(KINAN)の徹底 (K)気持ちをこめて、(I)いつまでも、(N)納得のいく、(A)安心で安全な、(N)任務の遂行
 - 2、患者さんの権利を尊重し、わかりやすい説明を励行
 - 3、生活の質(QOL: quality of life)を中心とした診療と援助
 - 4、行政や医師会と協同した地域医療の向上(救急医療、高齢者医療、健診、地域連携、福祉など)
 - 5、職員研修の強化と遠隔地医療教育の必須化
 - 6、職場環境の改善と健全な病院経営に基づく医療環境の提供

大地震救援募金 全職員に呼びかけて、中国大地震救援募金へ72,270円、岩手・宮城地震へ11,465円を寄付させていただきました。
(紀南病院魅力ある病院づくり実行委員会<MBZ>)

子宮筋腫について

産婦人科医長
川戸 浩明



産婦人科では産科、婦人科の診療を行います。産科では妊婦健診を実施し分娩を取り扱っており、必要に応じ産科手術（帝王切開術など）を行っています。婦人科で診療する疾患は多岐にわたりますが、今回は比較的頻度が高く、一般的な疾患である子宮筋腫の診断、治療につき紹介します。

子宮筋腫は症状のみられないものを含めるとおよそ女性の20～30%に認められるともいわれる疾患です。無症状の場合も多いですが、腹部膨満感、腫瘤感、過多月経とそれに伴う貧血、月経痛、不正出血、等の症状がみられます。また、場合によっては不妊症の原因の一つにもなります。

診断は超音波検査、CT、MRI等の画像診断が有用でありこれらにより子宮筋腫の大きさ、位置、数等が把握できます。

無症状あるいは症状が軽度の場合、経過観察となり6ヶ月に1回程度の検診をおすすめする場合があります。

症状が著明になってくると治療を開始しますが、治療法は大きく分けて対症療法、保存療法（薬物療法）、手術療法に分けられます。

対症療法とはたとえば貧血がみられる場合に鉄剤を投与するなどの、症状そのものに対する治療です。

また、以前にくらべ手術を選択するよりも薬物療法を選択する割合が増えています。この際に使用する主な薬物として主にGnRHa製剤が選択されます。この薬は、下垂体という場所に作用し、その結果卵巣からのエストロゲン（女性ホルモン）の分泌を抑制し閉経後に近い状態をつくります。これにより子宮筋腫は縮小し症状を抑えることが期待できます。また、手術前に出血などのリスクを減少させる目的でこの薬物を投与する方法もよく用いられます。実際には4週間に1回皮下注射をする方法が多く用いられます。また薬の効果は投与中の一時的なものであり中止すると再度月経が始まります。

また、薬物療法のみでは症状改善がみられない場合や筋腫が増大傾向にある場合等は手術療法（筋腫核出術、子宮全摘術）が選択されます。

女性の方はできれば一年に1回婦人科検診を受けられることにより、子宮筋腫を含め子宮、卵巣の疾患の早期発見が期待されます。

軽症外傷患者の救急車での搬送先について

病院の外科・整形外科の各医師におきましては、外来診療・予約診療・入院回診・検査や手術・ギブス装着（整形外科）等の予定が組まれています。その中に救急車による救急患者さんが運び込まれると、予定が大きく変わり、患者さんにご迷惑をかけたり、医師の負担が増大したりします。

今回紀南医師会、消防本部のご協力を得て、勤務時間内における軽症外傷と見られる患者さんの搬送は管内の開業医で受けていただくこととなりました。勤務時間外の受け入れ、中・重症の場合、開業医からの転送につきましては、これまで通り紀南病院で受け入れることとなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

紀南病院ボーリング大会 6月24日夜・東宝パウルにおいて86名が参加。団体戦は、三石貴之、根本保正、西隆暁の「総務・中材・MSWチーム」が、個人戦は西久保公映副院長が、それぞれ優勝。

研修医の受け入れについて

現在、医学部を卒業し国家試験を合格した医師は、初任者研修として2年間の病院での研修が義務付けられています。紀南病院では、医師不足の折、研修医の受け入れを積極的に行なっています。今年度は、三重大学附属病院、市立四日市病院から11名の研修医が「地域医療研修」として1～2ヶ月間紀南病院に研修に訪れます。

病院では研修医を温かく受け入れ、将来紀南病院に来ていただける医師を確保できないかと、今後も研修医の受け入れを積極的に行なっていきます。皆さんが受診した際に研修医が担当する場合もあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。研修医には、紀和町における訪問診療、「きなん苑」での体験、学校、老人会でのふれあい等、少しでも地域を知っていただくこととしていますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします



セタコンサート

7月7日(月)夕刻から紀南病院外来棟にて、毎年恒例のセタコンサートが開催されました。踊りグループ『八咫鳥(やたがらす)』をお招きし、「翔」「祝節」などを踊っていただきました。前座として、紀南病院コーラス部が「大きな古時計」「花のメルヘン」を歌い、最後は会場全員で「セタ様」を合唱しました。願い事が書かれた短冊を、笹の葉に掛ける患者様の姿も多数見られました。



〈近隣医療機関の先生方へのご報告〉

初診の予約をいただいた紹介患者様の数(19年度) 19年度中に他の医療機関から紀南病院へ紹介いただいた患者様のうち、前もって予約をとっていただいたのは567名でした。診察待ち時間の短縮にご協力いただき、ありがとうございました。

CT・MRI検査のみのご依頼件数(19年度) 19年度中に他の医療機関からCT・MRI画像検査のみを希望されて紹介いただいた患者様は、332名(CT・155名、MRI・177名)でした。ありがとうございました。

外来診療担当表

平成20年7月3日現在

区 分		月	火	水	木	金
内 科	午前	1診(初診)	(第1~2週) 瀬口 優医師 (第3~4週) 中川 十夢医師	(第1, 3, 5週) 鈴木 光哉医師 (第2, 4週) 小林 文人医師	杉本 龍亮医師	武田 裕子医師 浦吉 俊輔医師
		2診(初診)				
		3診(再診)	松浦りつ子医師	松浦りつ子医師	西久保公映副院長	瀬口 優医師 杉本 龍亮医師 中川 十夢医師
		4診(再診)	小林 文人医師	浦吉 俊輔医師	松浦りつ子医師	鈴木 光哉医師 關 めぐみ医師
	午後	3診(再診)		鈴木 光哉医師	西久保公映副院長	糖尿病専門外来(月1回)
		4診(再診)		西久保公映副院長	尾辻 典子医師	循環器専門外来(月1回)
外 科	1 診	乳腺専門外来(月1回)	須崎 真副院長	野口 孝院長	野口 孝院長	須崎 真副院長
	2 診	熊本 幸司医師	熊本 幸司医師	熊本 幸司医師	信岡 祐医師	信岡 祐医師
整 形 外 科	1 診	植村 和司医師	倉田 竜也医師	植村 和司医師		倉田 竜也医師
	2 診	倉田 竜也医師	植村 和司医師	倉田 竜也医師	里中 東彦医師	植村 和司医師
脳神経外科	1 診					仲尾貢二医師(午後) 種村浩医師(午後)
眼 科	1 診	山田 敦医師	山田 敦医師	山田 敦医師	山田 敦医師	山田 敦医師
産 婦 人 科	1 診	葛西 普一医師	川戸 浩明医師	關 義長医師	葛西 普一医師	川戸 浩明医師
小 児 科	1 診	鈴木 幹啓医師	鈴木 幹啓医師	鈴木 幹啓医師	足立 基医師	鈴木 幹啓医師
皮 膚 科	1 診	嶋 聡子医師		嶋 聡子医師		嶋 聡子医師
神 経 内 科	1 診					木田 博隆医師 谷口 彰医師 成田 有吾医師
泌 尿 器 科	1 診			今村哲也医師(午後)		
耳 鼻 咽 喉 科	1 診	松浦 徹医師	松浦 徹医師	松浦 徹医師	松浦 徹医師	松浦 徹医師
歯科口腔外科	1 診	平本 憲一医師	平本 憲一医師	平本 憲一医師	平本 憲一医師	平本 憲一医師
備 考	1. 受付時間は午前7時30分～午前11時30分までとなっております。ただし急患については時間外でも受付します。なお当院を初めて受診される患者様及び、診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。 2. 神経内科・脳神経外科は現在、新規の患者様をお受けできません。ご了承下さい。 3. 眼科は第1・第3月曜日を休診とさせていただきます。					

新任先生紹介

歯科口腔外科医長

ひらもと けんいち
平本 憲一 先生

5月1日着任



●前任地

三重中央医療センター

●趣味

学生時代はテニスをしていました

●医師を志した理由

皆に喜んでもらえる仕事だから

●歯学部に入るには、どのようなことが必要だと思いますか

他人を思いやる心を持っていること

●抱負

地域医療に役立てるよう頑張ります

特別企画

『紀南病院ってどんな病院ですか?』

4月から紀南病院で働き始めた看護師さんに、紀南病院の印象を聞きました。

「地域的な事もあり、患者さんや家族が穏やかでコミュニケーションが取りやすく、また医療関係者もみなさんやさしく親切であり、職場にも馴染みやすかったです。」
(内野博久：3階南)

「働き始めてわかったことは、看護師さん同士が相談し合い、話をし、仲がいい、ということです。連携を大事にしている、協力し合っているという印象です。」
(須川美江子：5階)

「患者さんとスタッフの関係が、家族のような病院です。」
(寺前史智：4階南)

「紀南病院は笑顔のやさしい病院です。地方特有の表現等で患者様の緊張をほぐし、接しやすい環境が作られていると感じます。」
(尾崎千恵：3階中央)

「みんなわきあいあいと仲良く、患者さんの前でも、職員間でもいつも笑顔の絶えない病院という印象です。」
(尾崎麻衣：4階中央)

「地域密着型の公立病院って感じがします。地域の患者様が、かかりつけの家庭医の様に関わっておられる、信頼されている病院なんだなあと感じました。」
(中西友美：4階中央)

「医療設備が整っていて、地域に期待されている病院だと感じます。これからも当院の看護師として頑張っていきたいです。」
(古川里美：療養棟)